

第23回

卒業式



3月16日、本校講堂にて卒業式が行われ、機械システム系35名、電気・電子システム系16名、建築システム系7名、計58名に卒業証書が授与されました。  
(イニシャル表記)

〈卒業証書授与〉各系代表

機械システム系 K・S

電気・電子システム系 H・K

建築システム系 I・R

〈校長特別表彰〉

第51回大分県技能祭学生溶接選手権(立向きの部 優勝)

機械システム系 Y・W

(横向きの部 優勝)

機械システム系 T・K

〈記念品贈呈〉

機械システム系 U・K

〈卒業生答辞〉

建築システム系 K・M

〈在校生送辞〉

電気・電子システム系 O・Y

～卒業研究発表会～

3/8 電気・電子システム系

- ・ポンプ制御盤の製作
- ・ケーブル自動切断機の製作
- ・オムニホイールを使用した自動搬送機モデルの製作
- ・自動搬送装置Ver. 2の製作
- ・IoT機器による環境計測装置の製作
- ・アナログシンセサイザーの製作
- ・遊戯用ラジコンカーの製作
- ・感染予防対策機器の製作
- ・月面ローバーの製作

3/9 建築システム系

- ・施工管理技術の習得を目指したモックアップの製作
- ・BIMによるOIT3次元モデルの制作
- ・製図室の模様替えに関する提案と付帯する家具の試作

3/10 機械システム系

- ・小径ボールエンドミル工具による微細精密3次元形状加工
- ・エアエンジンの設計・製作
- ・ワーク搬送装置の設計・製作
- ・機械構造用合金鋼において不完全焼入れ組織を焼戻した場合の機械的性質の調査
- ・ベンディングロール加工機の設計・製作
- ・汎用旋盤による球面加工治具の設計・製作

3/11 機械システム系

- ・プレス金型の設計・製作(順送方式)
- ・プレス金型の設計・製作(トランスファ方式)
- ・プラスチック射出成形金型の設計・製作(金型グランプリへの挑戦)
- ・PLC制御による多関節4脚步行ロボット
- ・エンジン発電機の設計・製作
- ・業務用ヘッドライヤーの製作
- ・自動搬送装置の改良
- ・ロボットアームの製作

## エアエンジンの設計・製作

デジタルメカコース  
F・Hさん・Y・Wさん・Y・Dさん

### ○研究の目的

本研究は、デジタルメカエンジニアコースで学んできた、デジタルデータを活用したものづくりの一連の流れを実践することで、その利点や特徴を理解し、それぞれの就職先で活かせる技術を学ぶことを目的としています。

### ○指導教員 十河先生から一言

昨年の7月から、3名の学生で「エアエンジンの設計・製作」に取り組んできました。今年度は、過年度に取り組んできた同テーマの製作物の中において、最も高い性能を発揮できるエンジンを作ることを目標に取り組んできました。3名は大変チームワークのよいメンバーであり、それぞれが個々の役割をよく理解し、各々が得意な分野を十分に生かせる作業分担を自らの手で行い、効率的な計画を着実に実践することで、見事な製品を作り上げてくれました。計画当初目標に掲げた仕様を大幅に超える製品が完成したことは、一重に学生の努力の賜物であると思います。担当教員として機械システム系の優秀賞を取ることでできたゼミのメンバーを誇りに思います。今回の経験をそれぞれの就職先や進学先で活かし、優秀なエンジニアとして活躍することを期待いたします。

## プラスチック射出成形金型の設計・製作（金型グランプリへの挑戦）

金型コース  
O・Sさん・T・Kさん・H・Dさん・Y・Nさん

### ○研究の目的

第14回学生金型グランプリに出展する金型の設計・製作というテーマに取り組み、将来金型産業に携わる者として経験すべき、金型の設計から金型製作・射出成形機による量産までを行う。卒業研究を通して一連の金型製作の流れを学び、金型の知識はもちろん設計ツールや工作機械の技術向上にも努める。

### ○指導教員 川崎・松本先生から一言

彼らの卒業研究は、4年生大学の学生や大学院生を対象にした学生金型グランプリの課題に取り組むものである。今回の課題は、「犬の飾り小物」というもので、5部品の複数部品である上に、特別な処理が必要なアンダーカット部が6か所ある。課題通りに製作しても難しいものであったが、彼らは他の学校にない特徴を持たせたいと考え、舌パーツを追加して6部品としたほか、複数の色を付けられる多色成形のプラモデルにすることに挑戦した。多色成形は通常多色成形専用の成形機が必要であるが、本校にある標準の成形機でも生産できるように、アイデアを出し合い工夫して実現させた。修正を重ねたことで、多色成形品という特徴を持ちつつ、精度の高い製品を量産することができた。アイデアを形にするために諦めずに最後まで頑張り続けた彼らは、素晴らしいと思う。

機械システム系

## 遊戯用ラジコンカーの製作

### ○研究の目的

電子エンジニアコース  
H・Kさん

私は電子回路設計・製造やソフトウェア設計を行う企業様に内定を頂いたので、電子回路、マイコンなどの知識やプログラミング能力の向上を図ることを目的に遊戯用ラジコンカーの製作を行いました。

### ○指導教員 児玉先生から一言

堀田さんの卒業研究のテーマは、「遊戯用ラジコンカーの製作」でした。卒業研究で製作した遊戯用ラジコンカーは、マイコンに様々なセンサを搭載して、複雑な動作制御を可能にしています。製作したラジコンカーには彼が電気・電子システム系として2年間学んできた電子回路やセンサ、プログラムなどの知識や技術が凝縮され非常にレベルの高い製作物になっています。指導教員として評価したいのは彼が応用技術についても積極的に学び、考え、実践する姿勢を持っていたことです。卒業研究に真摯に向き合う彼の姿勢は他学生の手本となり、今年の卒業研究全体のレベルの底上げする効果もありました。非常に優秀な学生の指導教員を担当することができ嬉しく思います。彼にはこの経験を生かして就職先の企業でも活躍されることを期待しています。

電気・電子システム系

## 製図室の模様替えに関する提案と

### 付帯する家具の試作

プランナーコース  
K・Mさん・H・Rさん

### ○研究の目的

研究棟4階の製図室は、使われていない製図台が多く、有効活用が図られていない、また、人間工学実習室は、製図道具や卒業研究の作品の保管場所となっている状況にある。将来的な教室の用途変更を契機として、こうした状況を改善するために本研究は製図室と人間工学実習室を有効活用するための模様替えの提案と利便性向上を図るための家具の試作を行ったものである。

### ○指導教員 松尾・野口先生から一言

本研究で行った成果物としてSketchUpというモデリングソフトを利用して製図室と人間工学実習室のレイアウト提案、製図室のレイアウト用に縮尺1:30のミニチュア家具模型を含むインテリア模型の製作、また、利便性の向上を図るための作業台等の木製家具4点を製作している。モデリングソフトの習得、インテリア模型の製作、家具製作のいずれも担当した2名の学生にとって卒業研究で初めて取り組む内容であった。モデリングソフトは卒研着手の早い段階で操作を習得し、レイアウト提案の段階では様々な提案図面を作成、修正を繰り返しながら粘り強くまとめあげていった。家具製作においては指導者の下、不慣れな作業にも熱心に取り組み仕上げまで丁寧に行っている。レイアウト模型は根気強く個々のアイテムもつくりこんでいる。2名の努力の成果が今後の対象室の模様替えに役立てば幸いです。

建築システム系

## 機械システム系卒業生講話 (2/22)

機械システム系1年生を対象に、進級を前に企業についての理解および就労意識を高めるため、本校卒業生による特別講義を実施しました。

卒業生講話の講師の方のお勤め先：

株式会社三井ハイテック、東海プラントエンジニアリング株式会社、株式会社京製メック、株式会社デンケン

## 特別講義 (2/16)

キャリア教育 特別講義として、有限会社東栄工業所 代表取締役社長 児島 靖正氏より、「会社のこと、社会のこと」と題しまして、本校1年生に向けご講義を行っていただきました。これからの人生、そして就職活動に向けて大いに参考になったのではないかと思います。児島社長、お忙しい中ありがとうございました。



## 就職対策セミナー 校長講話 (3/8)

本格的な就職活動を間近に控えた1年生に向けて、過去のデータや統計を基に「就職するとはどういうことなのか」や「就職試験を受けるにあたっての心構え」などについて、基校長にお話をいただきました。



## 業界研究セミナー (3/14、3/15)

「当セミナーは、就職活動開始前、自分が進むべき方向を絞るために、さまざまな業界や企業を知る場として開催している。」

3月14日開催時は57社、15日は44社と多くの企業の皆様にご参加いただきました。いよいよ1年生も本格的に就職活動が始まります。多くの企業の方のお話を聞くことができ、たいへん勉強になりました。ありがとうございました。



校長講話



業界研究セミナー

# 卒業生の皆さんへ

## 明けない夜はない

令和4年3月16日に58名の卒業生を送り出すことができました。新たに就職・進学をされた皆さんおめでとうございます。皆さんが在学中の2年間は新型コロナウイルスによる感染拡大の影響で特に大変な2年間でした。令和2年4月の入学式を行い導入教育後にコロナ感染拡大により休校と分散登校を行い、やっとともに授業や実験実習ができるようになったのは5月になる頃でした。そしてその後も感染拡大に用心するためマスクを着用し、体温に注意し、換気を行い、座席を指定し、手指の消毒を行いながら授業や実験実習を行いました。就職活動も多く企業のオンラインでの説明会や面接を行う場合が多くありました。また平成10年の開校以来、毎年11月に行ってきた工科短期大学の学園祭である昂華祭も令和2年、3年は行うことができませんでした。

新たに卒業した皆さんと既に卒業して就職した皆さんに私からお伝えしたいことは、明けない夜はなく、止まない雨は無いということです。確かに新型コロナウイルスは重篤な症状に至る可能性のある病ですがこの2年数ヶ月の間に新しいウイルスについて人類は多くの知見を積み重ねてきました。ワクチンも開発され一定の年齢以上であれば希望すれば受けることができるようになりました。国産のワクチンや飲み薬も完成が近いとの報道もあります。やがてこの病気を克服できる日が来るでしょう。

新型コロナウイルスに限らず何らかの問題に直面したときにはまず耐え凌ぎ、問題の本質を見極め、対策を考え実行することでしか物事を解決する方法は無いのだと天が我々に教えているのかもしれない。

機械システム系 教授 満永 浩一

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

2年間という短い期間ではありましたが、入学してあつという間に時が過ぎていった感じがしています。コロナ禍であり、感染防止対策を徹底しながらの学校生活でありましたが、クラスの皆と共に勉学に励みながら過ごせたことは良い思い出になることと思っています。この数年で働き方も変化してきています。これから社会に出れば新しい環境で新たなスタートになります。私自身、教える立場でありながらも、学生の皆さんからたくさんのお話を学ばせてもらいました。

皆さんはこれから社会に出て、40年以上仕事に携わっていくことになります。時代は変わっていきますが、工科短大で身に付けた知識と技術、経験を活かし、新たな事にも積極的にチャレンジして、自己を成長させ、充実した人生を歩まれることを願うところです。オンとオフをしっかりと切り替えてこれからの新生活を楽しんでください。

健康には十分留意され、ご活躍を期待しています。

電気・電子システム系 教授 小野陽二

これから社会人となる皆さんに、若輩者ですが、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます。皆さんが、専門的な知識を学習し始めてから2年間が経ちました。小学生の頃から続いた学校で勉強する期間もここで幕を下ろします。しかし、社会人になってからも勉強を続けてください。皆さんが基礎学力や専門知識の勉強を行ってきた14年間は、これから先、自分で勉強することができるようになるための期間でもあります。

私自身も、社会人として働くようになってから気づきましたが、社会人は、学生よりも学ぶべきことが多いです。学生時代のように、学ぶ内容と学ぶ時間を誰かが用意してくれることはなく、自分で必要性を感じ、自分で時間をつくらなければなりません。

これを「ツライこと」と思わないでください。何かの知識を得るということは、考え方を豊かにします。そして考え方が豊かになると、様々なことに対しての感じ方が豊かになります。私は、それこそが、人生を楽しむ秘訣なのではと思っています。仕事上の知識だけでなく、幅広く、様々なことに興味を持ち、たくさんの知識を付けてください。

4月から社会人として、様々な場所で活躍されることを期待しています。そして、皆さんの人生が今後、笑顔にあふれることを心から願っています。

建築システム系 講師 林 寿廣



## ～卒業式を終えて～



機械システム系  
Y・Dさん

私は普通科高校出身のため、ものづくりの知識は浅く入学前までは授業で他学生に置いて行かれるのではないかと不安でした。ですが、実際の授業では教授がわかりやすい講義をしてくださったため内容の理解もたやすくたくさんの知識を習得することができました。

知識習得のほかにも資格の取得や報・連・相などのヒューマンスキル向上もできました。

電気・電子システム系  
E・Iさん

私はこの2年間で専門的な知識や社会人に必要なマナーなど多くのことを身に付けることができました。

また、クラスメイトと仲を深め様々な思い出をつくり充実した日々を送ることができました。

社会人になってからはこの学校で学んだことを活かし頑張りたいと思います。

建築システム系  
K・Mさん

入学時は全く建築知識などありませんでしたが、この2年間でたくさんのお話を学ぶことができました。

私は4月から住宅営業の仕事に就きます。建築のことを知らないお客様にも安心して家づくりの相談をしてもらえるようにこの学校で学んだことを活かしていきたいです。

またこれからも建築の勉強を続けて知識を増やしていきたいです。